

# 深浦会東京だより

第28号

深浦会東京 事務局  
〒154-0011 東京都世田谷区上馬4-23-7  
トボス・M. 駒沢 102  
TEL 03-3418-0914  
FAX 03-3422-0483

## 第18回定期総会・交流会

### ふるさとの 幸がおどる 深浦会！ 次世代に語り継ぎたい人情と味！



日本海の夕陽海岸を臨み、白神山がそびえる雄大な自然！次世代に語り継ぎたいふるさとの人情と味！

今年もまた、懐かしい多彩な味をたくさん取り揃えて皆さんのご参加をお待ちしております。

2010年、いよいよ今年12月には東北新幹線全線開通で「青森新時代」の到来です。北へ、津軽

深浦会東京 会長 小野 秋夫

へ、深浦へと夢が大きく広がる年です。年末からの金融危機、円高、雇用の悪化等で、地方の財政状況は一段と厳しい状況におかれています。このような厳しい中で「旧深浦町と旧岩崎村の町村合併後、はじめて黒字決算となった」(吉田町長新春あいさつ)。これまでの各種財政健全化対策等

「新たな町の創造」は過去の歴史に学び、現在の課題をしつかり見つめ、新たな未来像を描き挑戦していくことにあります。

一人ひとりがふるさとを誇る自然、歴史、祭り、食などを体感して、「深浦ファン」をさらに増や

していく努力をしたいと思います。

「ふるさと」を離れてから早50年。人間の知識や生活は、その大部分が過去の経験や体験に支えられていることに改めて気づかされます。

長年教職にあつて、子どもや保護者・教職員と関わる基にあったものは、いつも「ふるさとの心」でした。

生まれ育ったふるさとの海、山、川であり、厳しい自然の中で心寄せ合つて生きてきた親や村の人々の願い、他を思いやる温かい人情であつたように思います。

サケは自分の生まれ育つた川にきちんと帰つていきます。その秘密は生まれ故郷の川だけに含まれる。匂い。だということ

### 昨年定期総会・交流会風景



定期総会の受付風景



定期総会の様子



ふるさとの味に舌鼓



ふるさとの物産販売

## 未来に希望のもてる街づくり

— 深浦会東京の定期総会に寄せて —

深浦町長 吉田 満



ふるさとの山々の木々や草花も芽吹く季節となりました。「深浦会東京」の会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素よりふるさと深浦町へのご支援・ご協力に感謝を申し上げます。

この会はふるさとの想いを語り合い、出身者相互の交流・親睦・情報交換の場として重要な役割をはたしながら発展して参りました。本年の第18回定期総会・交流会にも昨年同様多くの方に参加いただき盛会となり

とが分かつたそうです。人間もまた「ふるさとの匂い」をかき続けているのかも知れません。地域(ふるさと)に生まれ、地域に育つた子ども達も、やがて地域を支える大きな力となります。まさに「ふるさとづく

り是人づくり」にあるのだと思っております。

▼つなぐ・広げる「深浦会東京」の絆！  
協力し合うということ、一人ひとりの持ち味をたし算することでもあり、一人の力は小さく

でもみんなの力が集まればきつと何かができるのです。「深浦会東京」はふるさとの仲間の語り合いの場、苦勞も喜びも分かち合える場、心癒される憩

ますよう期待するところでありませぬ。

さて、我が国は巨額な財政赤字を抱え、長引く景気の低迷により、国・地方とも厳しい財政状況となつております。さらに、世界に先駆けて少子高齢化が進行し、特に地方での人口減少が進展、消費の低迷により企業は厳しい収益環境におかれ、雇用や所得環境が改善しないため、地域経済は現在も厳しい状況にあります。

このような中、政府は昨年の衆議院選挙で民主党が掲げたマニフェスト(政権公約)の重要施策である公立高校の授業料の無償化、子ども手当の支給、米農家を対象とした農家の戸別所得補償などの教育・子育て・地

域活性化の支援策を4月から実施しましたが、一方で医療の充実を図るための診療報酬の改定や、たばこの増税、所得税の扶養控除の見直しにより、今後、負担増となる世帯も多くなると考えるところです。

ご心配をお掛けしておりました町の財政状況につきましては、依然として厳しい状況にあります。平成20年度決算において赤字を解消することができましたが、今後も引き続き財政改革を推進し健全化を図りながら、住民のニーズに合致した事務事業を実施してまいります。

また、「ふるさと納税制度」においては、昨年度、会員皆様方から多額

な寄付をいただきましたことに対し厚くお礼申し上げます。今後、「ふるさと納税制度」を活用していただき「ふるさと深浦町」をご支援くださいますようお願い申し上げます。

町では、今年度、町村合併から5周年を迎えるにあたり各種記念事業を行うこととしております。5月29日に記念式典を行うほか、のほろ夕陽のふかふか大使である奈良岡紘子氏の「健康講話」や近藤金吾・泰次兄弟のタイムスリップや有名ミュージシャンによる「深浦ミュージックフェスティバル」などの開催を予定しております。

また、主要産業であります農業・漁業の活性化に向けた新たな取組みとして、地域資源を活用した内発的な産業おこしを目指すことを盛り込んだ「産業振興プラン」を策定し、一次産品の付加価値を高める加工事業や食

品加工に必要な知識と技術を習得する人材育成事業、地域の素材を活かした地域ブランド商品の開発や販売促進事業などの「農商工連携ビジネス」を積極的に展開してまいります。

観光産業におきましては、本年12月に待望の東北新幹線新青森駅が開業します。人気の「リゾート」から「リゾート」にも開業に合わせてハイブリッドシステムを搭載した新車両の導入が予定されており、JR秋田駅から新青森駅間の利便性の向上から当該地域を周遊する旅行客の増加が期待されることとあります。

当町では白神山彦山彦「食の旅」事業において、町内の飲食店・宿泊施設が地域の食材を活かした料理を提供してまいります。その中でも、女性グループ「白神山彦山彦会」が「白神山彦山彦館」で季節の食材を活かした郷土料理の提供を行なつ

ており、宿泊客からも好評を得ています。この取り組みが認められ、農林水産省が主催する「食アニメティコンテスト」で農村振興局長賞を受賞したところとあります。この豊かな食文化、自然環境、歴史文化等の地域資源を最大限活用し、開業を大きなビジネスチャンスと捉えて観光客の誘客を推進してまいります。

将来を担う若者たちが、未来に希望を持ち結婚・子育てができて安心して暮らせる街づくりを進め、町の将来の展望を切り開くための全力を尽くしてまいりますので、会員の皆様には、なお一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、深浦会東京の益々のご隆盛と会員皆様のご健勝を祈念し、6月20日(日)に開催されます定期総会での再会を約束いたします。ご挨拶いたします。

以上

記

平成22年5月吉日

敬具

深浦会東京 会長 小野 秋夫

「深浦会東京」第18回定期総会・交流会の開催について

1. 日時 平成22年6月20日(日) 午後1時より

2. 場所 きゅりあん(品川区総合区民会館) 東京都品川区東大井5-18-1 ☎03(5479)4100

3. 交通 JR京浜東北線大井町駅下車南口徒歩1分、東急大井町駅下車徒歩5分

4. 会費 1人7,000円(年会費2,000円を含む) 同伴家族1名増すごとに5,000円加算。但し高校生以下は無料。

5. 申込方法 同封の「はがき」に必要事項を記入し、6月4日までにご返送下さい。

※当日、ご出席できない方は年会費(2,000円)を別紙郵便振替払込書にてお振り込み下さい(平成21年度振込実績207名余)。なお、振込手数料は、当会にて負担いたします。

※「広報ふかうら」の購読をご希望される方は、別紙郵便振替払込書にて購読料(2,000円/年)をお振り込み下さい。振込手数料は当会にて負担いたします。

※会場でのスナップ写真の撮影は致しませんので、写真を撮られる方は、カメラ等をご持参下さい。

以上

以上

以上

以上

以上

以上

# 「深浦町特産品商品の販売について」



深浦町特産品の認定商品は、平成18年度より始まり深浦町の「特産品」を認定し、町内外に広く宣伝することによって業界および地場産業の振興に寄与することを目的としており、現在35品が認定されています。

「特産品」に認定された商品は、深浦町・深浦町商工会・深浦町観光協会・深浦町特産品振興会が積極的にPRに努めて、ウエスバ椿山・アオーネ白神十二湖などで販売していますが、4月からは、JR深浦駅前商店の賑わいを取り戻すため、マックス「ト」また「せん」の協力により、認定商品を一堂に集めたコーナーを設けて販売を開始しました。

地域の活性化に繋げたいと考えますので、帰郷の際は、どうぞお立ち寄りください。

\*商品によっては季節限定製品となります。

## 深浦町特産品商品

(名産品部門)

品目	価格	商品製造者
塩もずく(箱入)	1,260円/1kg	大船海産(株)
塩もずく(樽入)	2,000円/2kg	〃
木枕	3,150円/1ヶ	ふかうら木工房
元祖 洞く観音もち(小浜屋の手造り味噌入)	130円/1ヶ	深浦町観光協会
北前船伝承天然醸造味噌「白神岳」	525円/450g 840円/750g	小浜屋醸造
クリーンライス 白神山麓あさひるばん	4,000円/10kg	つがるにしきた農協 深浦支店
白山山麓 冬掘り人参じゅーす	150円/1本	〃
ハタハタ寿し漬	525円/130g	(株)ふかうら開発
白山柴め(ハンカチ)	柄840円/1枚 レース1,680円/1枚	白神レディース
元祖 洞く観音もち(オリジナル)	130円/1ヶ	深浦町観光協会
元祖 洞く観音もち(黒ごま入り)	130円/1ヶ	深浦町観光協会
白神のどぶろく かんのみ	1,050円/500ml 2,100円/1000ml	どぶろく屋
清酒 本醸造 深浦丸	300円/180ml	菊地商店
清酒 本醸造生貯蔵酒 白神の詩	420円/300ml	〃
本格米焼酎 25℃ 白神の詩	1,050円/700ml	〃
清酒 純米酒 白神の詩	1,360円/720ml 2,500円/1800ml	〃
つつるわかめ	210円/130g(タレ付)	(株)ふかうら開発
つつるわかめ きしめん風	210円/130g(タレ付)	〃
つつるキャロット	150円/100g	〃
塩わかめ	315円/200g	〃
岩もずく	630円/400g	〃
いか生干し	315円/1枚	〃
深浦ラーメン	735円/1箱	〃
コサージュケース入 花炭	1,100円/1ケース	炭工房 勘
コサージュケース入 松ボックリ炭	550円/1ケース	〃
白神鮭めぐり(鮭くんせい)	550円/65g	くんせい工房しまもと
たご寿し漬	525円/150g	(株)ふかうら開発
さけ寿し漬	525円/150g	〃
ふかうら雪人参「おちっと」ゼリー	630円/12ヶ入	深浦町観光協会
どぶろくふりん ほんのり	250円/75g	しらかみ夢学院
白神鮭めぐり(メス鮭くんせい)	500円/65g	くんせい工房しまもと
白神鮭めぐり(鮭とば)	500円/65g	〃

(特産品部門)

品目	品種	商品製造者
ふかうら 雪人参	はまべに	農事組合法人 稲作興農組合
なめこ	森式2号	伊藤 俊雄
竹の子	根曲がり竹	伊藤 俊雄

## 平成22年度深浦町イベント日程表

開催日	イベント名等	備考
平成22年 4月16日(金)	白神十二湖山開き(アオーネ白神十二湖) (登山客や森林浴に訪れる観光客の災害、交通事故等の撲滅を願い、安全祈願する)	観光課 0173-74-2111
4月27日(火) ~5月23日(日)	春の白神山写真展 (写真展を通して、新緑の白神山の魅力を鑑賞します)	十二湖エコ・ミュージアムセンター湖郷館 0173-77-3113
5月15日(土)	春の十二湖33湖めぐり (新緑の十二湖を楽しみながら、33の湖沼を巡ります)	十二湖エコ・ミュージアムセンター湖郷館 0173-77-3113
5月29日(土)	合併5周年記念式典(町民文化ホール) (吉田町長と山田まりやさんのコラムトークに注目です)	総務課 0173-74-2111
5月30日(日)	合併5周年記念事業「ふかうら芸能祭」(ゆとり) (山田まりやさんと町民とのトークショーも行なわれる)	深浦公民館 0173-74-2031
6月6日(日)	白神山・太夫峰登山 (白神ラインを通り、太夫峰に登ります)	十二湖エコ・ミュージアムセンター湖郷館 0173-77-3113
7月4日(日)	野鳥観察会 (十二湖内の野鳥を観察します)	十二湖エコ・ミュージアムセンター湖郷館 0173-77-3113
7月16日(金)	深浦町海開き安全祈願祭(岡崎海岸) (町内海水浴シーズンの幕開けを広くPRする)	観光課 0173-74-2111
7月19日(月)	合併5周年記念事業「健康講話」(町民文化ホール) (講師 国際ローリング協会副会長 奈良岡敏子氏)	
8月14日(土) 8月15日(日)	津軽風待ち浜 ふかうら ヤットセ (夕陽公園)	観光課 0173-74-2111
8月22日(日)	合併5周年記念事業「健康講話」(町民文化ホール) (講師 弘前大学医学部付属病院長 花田勝美氏)	
9月25日(土) 9月26日(日)	深浦ミュージックフェスティバル(ウエスバ椿山) (近藤兄弟のタイムスリップや大物ミュージシャン、アマチュアバンドがふかうらで燃え上がります。)	ウエスバ椿山 0173-75-2261
10月5日(火) ~10月31日(日)	秋の白神山写真展 (写真展を通して、紅葉の白神山の魅力を鑑賞します)	十二湖エコ・ミュージアムセンター湖郷館 0173-77-3113
10月16日(土) 10月17日(日)	津軽深浦チャンチャンまつり(夕陽公園) (一次産品の消費拡大等による地域の活性化を目指す)	深浦町観光協会 0173-74-3320
10月23日(土)	秋の十二湖33湖めぐり (紅葉の十二湖を楽しみながら、33の湖沼を巡ります)	十二湖エコ・ミュージアムセンター湖郷館 0173-77-3113
平成22年2月 (毎週土曜日)	グルメ in ふかうら(深浦町内) (一年で最も豊富な魚種が水揚げされる時期に町内各宿泊施設において冬季におけるツアー誘客を図る)	深浦町観光協会 0173-74-3320

## ◆連載◆

### 深浦の文化遺産 ⑦

元深浦町文化財審議委員  
森山嘉蔵



#### 一、深浦の文化財

#### 15 御飯屋(町奉行所)跡 町記念物(昭和四十九年八月十六日指定) 史跡 大字深浦字岡岡

弘前藩は寛永十二年(一六三五)、藩内の主要な湊の青森・鯉ヶ沢・深浦・十三の四浦に町奉行所の設置を定めた。

深浦湊では鎌倉・南北朝時代の古城址に町奉行所を築造した。奉行は二人で四ヶ月交代であり、職員は二十七人ほどで港灣・船・町の取締り、支配区域は岩崎の笹内川から風合瀬村までが範囲となっている。

藩主の領内巡視の際には奉行所宿泊となるので、此処を御飯屋形と称した。第九代夜寧親揮毫の「無為」の板額を掲げていたので「無為館」とも別称したものである。

#### 17. 釜屋の森 町記念物(平成五年十一月二十五日指定) 名勝 大字轟木字三浦

以前は「ズボン森」と呼ばれていた。「釜屋」というのは、弘前藩の許可を得て海塩を精製していた塩焼き釜屋のことである。地蔵岩浜で生産された海塩は特別に上質な塩であったから、藩が許可しない限り勝手に販売できなかったとも伝えられている。

また、この釜屋の磯浜奇岩が、沖行く船からは地

#### 16 花塚 町記念物(平成五年十一月二十五日指定) 史跡 大字深浦字浜町

江戸期の北前船(辨才船)による京・大阪などの上方と蝦夷地(北海道)との頻繁な海上交易は、風待ち湊と船乗りと呼ばれた深浦湊の経済面・文化面に大きな繁栄をもたらした。特に和歌や俳句には見るべきものがあつた。次の神明宮境内に保存されている。「花塚」にその片鱗が偲ばれるというものである。

「花塚やきのふの露に」  
文化年中の人 浦谷源助  
「いけ花にころをこめし」  
ならばいく世たむけ  
き神の社に」  
建立 安政二丁卯二月 山崎元雄

#### 18. 大間越関所(大間越口留番所)跡 町記念物(昭和五十一年十二月二十四日指定) 史跡 大字大間越字山科

大間越町奉行所跡(旧大間越小学校跡)  
慶長八年(一六〇三)、弘前藩は家臣の一町田大炊清を佐竹氏の秋田藩につかわし、弘前藩の比内地方を秋田藩に、秋田藩の西浜深浦以南須郷岬までを弘前藩領として交換した。

弘前藩領の三大関所の一つである大間越口留番所は、二代信牧時代の元和八年(一六二二)に設置されている。

さらに信牧は、右記三天関所(他は碓ヶ関と野内)と蟹田・今別の木材移出湊を五浦として、寛永十二年(一六三五)に大間越町奉行所を設置した。

町奉行は四ヶ月交代で、全職員は町同心警護等二十五人であり、台地上に築造されている口留番所は町奉行の下に経営されていたもので、関所の傍料(通行料)は二十文とられたという。街路形成

蔵様の形に見えるので「地蔵岩」と呼ばれ、船乗り達は航海の安全を祈って掌を合わせたものと言われている。

この釜屋付近は島嶼・砂浜・奇岩・海岸段丘の岩壁そして緑が一体となり、往古から文人墨客の目を奪ってきた景勝地であり、特に春夏秋冬の夕景は他に得難い秀景である。

#### 二、深浦の文化財遺産

1. 蝦夷錦(樺太錦・山丹錦とも)  
岡町浄念寺蔵

江戸時代に北方(樺太やアムール河流域)交易で日本に入ってきた。中国製の絹織物で色彩が鮮やかで龍文や牡丹文がついて、蝦夷地(北海道)からの布として大変に珍重され高価なものであった。(室町時代にも安藤氏等が都の貴人に献上していたようである。)

尤もこの蝦夷錦は中国の元王朝や清王朝の頃に、辺境の諸民族に服従の証(黒貂などの税収納)として与えたもので、王族諸侯や高官の衣服や反物なのである。それがアムール河流域(シベリヤ)に交易に来る樺太民族や辺境諸民族の交易品となって流通し、樺太・蝦夷地・本州に来たものである。

浄念寺(浄土真宗)の蝦夷錦は二枚で、牡丹文の水引・朱色 享和三年(一八〇三) 寄進 牡丹文の水引・朱色 文化九年(一八一二) 寄進 (参考 鯉ヶ沢の来生寺と願行寺には青色龍文の蝦夷錦が打敷となっている。)

## 事務局からです

- 1. 年会費の納入のお願い** 年会費を未納の方は大変申し訳ございませんが、平成22年度分の年会費2,000円のお振込みをお願い致します。昨年度は207名余の方からお振込みを頂いております。振込手数料はいりません(当会負担)。詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。
- 2. 「広報ふかうら」購読申し込みご希望の方へ** 深浦町で毎月発行しております。ふるさとの情報がいっぱい会員には大好評です。購読希望の方は年間購読料2,000円をお振込み下さい。振込手数料はいりません(当会負担)。詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。
- 3. 投稿のお願い** 「深浦会東京だより」への投稿を募集しております。内容は一切問いません。字数…600字位(写真貼付も)。事務局迄ご郵送下さい。投稿者には、深浦にちなんだ記念品を贈呈致します。
- 4. 住所変更、姓名が変わった方は忘れずに事務局迄連絡して下さい。**
- 5. 名簿提出のお願い** 同期会、同窓会等の名簿を事務局迄お願い致します。
- 6. 会報への「広告」を募集しています。** ご希望の方は事務局迄ご連絡下さい。(1口1万円より)